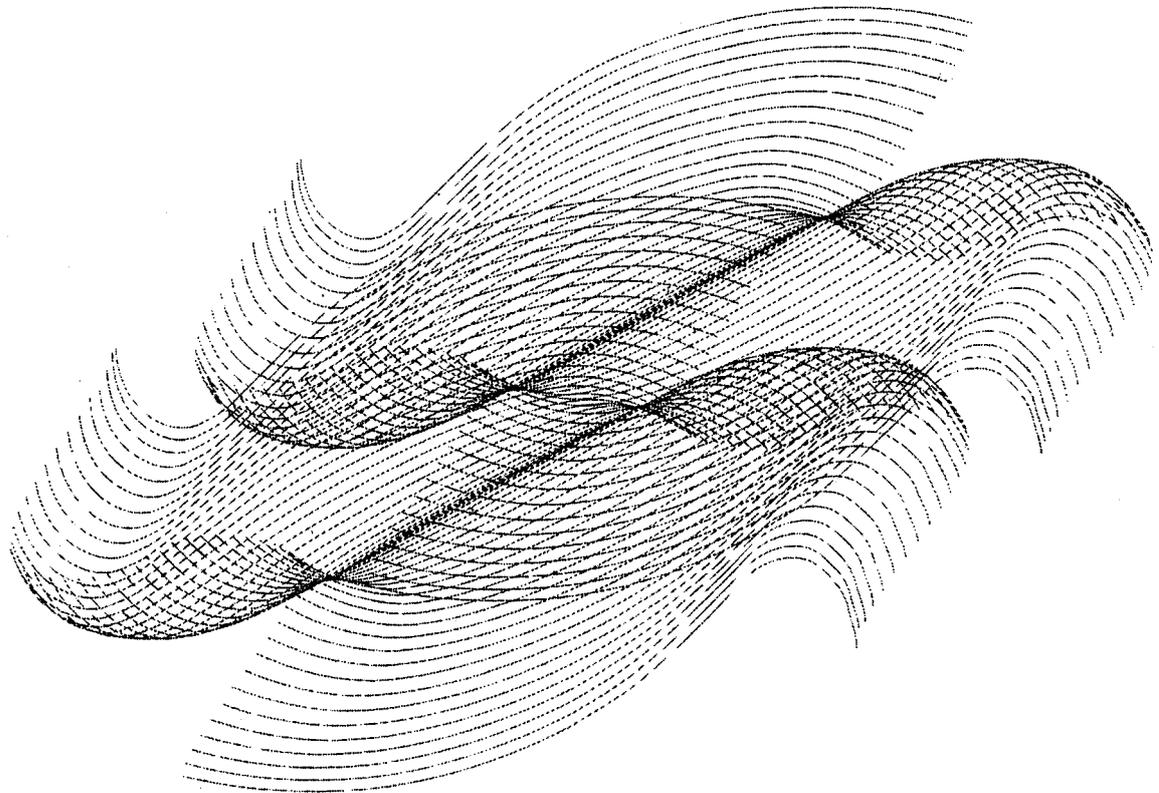


平成 23(2011)年度

# 共同利用公募案内



大学共同利用機関法人  
情報・システム研究機構  
統計数理研究所

(<http://www.ism.ac.jp/>)

# 目 次

## I 公募の概要

1	はじめに	1
2	共同利用の趣旨	1
3	公募型共同利用の形態	1
4	申請から決定までのスケジュール	1
5	平成23年度公募よりの大きな変更点について	2
	※統計数理研究所共同利用の概要図	3

## II 公募の内容

1	参加資格	4
2	研究組織	4
3	実施期間	5
4	公募する研究種別	5
	（1）共同利用登録	5
	（2）共同利用研究	6
	・一般研究1	7
	・一般研究2	7
	・若手短期集中型研究	7
	・重点型研究	8
	（3）共同研究集会	12
5	共同研究レポート	13

## III 経費

1	経費の性格	14
2	経費の区分	14
3	予算の執行手続き	16

## IV 申請方法等

1	申請方法	17
2	申請情報登録	17
3	申請期日	18

## 電子申請の登録・入力上の注意

1	研究代表者登録	20
2	共同研究課題内容申請登録	20
	表1 統計数理研究所内分野分類	24
	表2 主要研究分野分類	24
3	共同研究レポート発行経費申請登録	25
4	研究分担者登録	26
	表3 研究分担者の記入例	27
5	所要経費内訳登録	28
	表4 共同研究員旅費支給基準	29
6	承諾書	30

## V 審査等

1	審査	31
2	採否決定の通知	31
3	配分経費決定の通知	31

## VI 施設等の利用

1	案内	32
2	電子計算機	32
3	図書等	32
4	入退室カード	32
5	Aka i k e G u e s t H o u s e	33
6	その他	33

## VII 研究計画の変更等

1	研究組織の変更等	34
2	研究代表者の変更	34

## VIII 成果の公表

1	実施報告書	36
2	来所日数調査	37
3	情報公開	37
4	研究成果の取扱い	37

5	研究成果の発表	37
6	秘密保持義務	38

## IX 参考資料

別表1	旅費早見表	40
別表2	共同研究レポート一覧	42

## Appendix A 公募型共同利用電子申請システム操作説明書

1	システムログイン	47
2	課題申請	61
3	課題実施報告	83
4	その他	91



# I 公募の概要

## 1 はじめに

統計数理研究所（以下「研究所」という。）は、昭和60年に大学共同利用機関として改組され、平成16年4月から、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所として生まれ変わりました。研究所では、共同利用を推進することに努めております。公募型の共同利用は共同利用体制の一部であり、その件数は当初の62件から132件（平成22年度10月現在）に拡大し、その裾野は着実に広がり、順調に発展しております。平成23年度においても公募型の共同利用を推進することに努めてまいりたいと存じます。この「統計数理研究所共同利用公募案内」を参照の上、研究所を積極的に利用していただくことを心から念願しております。

## 2 共同利用の趣旨

研究所の共同利用は、大学等に所属する研究者が、研究所にこれまでに蓄積されてきたさまざまな研究資源を活用して、統計に関する数理及びその応用の研究を行い、その成果をもって学術研究の発展に資するものです。研究所の物的資源としては、計算機設備や図書が利用できます。また、研究所が開発した一連のソフトウェア・パッケージや、その他のソフトウェアが利用できます。これらにもまして重要な資源は、研究所の有する統計科学全般に関するノウハウであり、人的資源です。研究所の公募型の共同利用は、単なる助成研究とは異なり、研究所内外の研究者の交流の場を提供することを目的としており、統計科学の理論と応用における多面的な発展に寄与しています。

## 3 公募型共同利用の形態

公募型共同利用には「共同利用登録」、「共同利用研究」及び「共同研究集会」の3つの形態があります。さらに、共同利用研究には「一般研究1」、「一般研究2」、「若手短期集中型研究」及び「重点型研究」の4つの種別があります。

## 4 申請から決定までのスケジュール

平成22年	11月	公募受付開始
	12月20日（月）	公募受付締切
平成23年	1月～2月	審査
	3月中旬	採否決定通知送付
	6月中旬	配分経費決定通知送付

## 5 平成23年度公募よりの大きな変更点について

### (1) 電子申請システムの運用開始について

統計数理研究所では、平成23年度共同利用公募より「統計数理研究所公募型共同利用電子申請システム」の運用を開始いたします。「統計数理研究所公募型共同利用電子申請システム」とは、研究代表者から統計数理研究所に対して行われる公募型共同利用に関する申請・届出を、インターネットを利用して自宅やオフィスから行えるよう開発したシステムです。このシステムにより申請・届出者の利便を図り、併せて効率化を目指します。

本システムを利用することにより研究代表者は、IDとパスワードがあれば原則としてオフィスや自宅から24時間365日申請・届出が可能となります。

平成23年度の公募から運用を開始する手続は下記の手続です。

- ・申請時に必要な処理
- ・採択決定後に利用する処理  
(※研究組織変更等に係る処理については、平成23年度途中から運用開始予定となります。)
- ・研究実施期間終了後に必要な処理

ご利用にあたっては、下記ホームページにアクセスしてください。

<http://kyodo.ism.ac.jp>

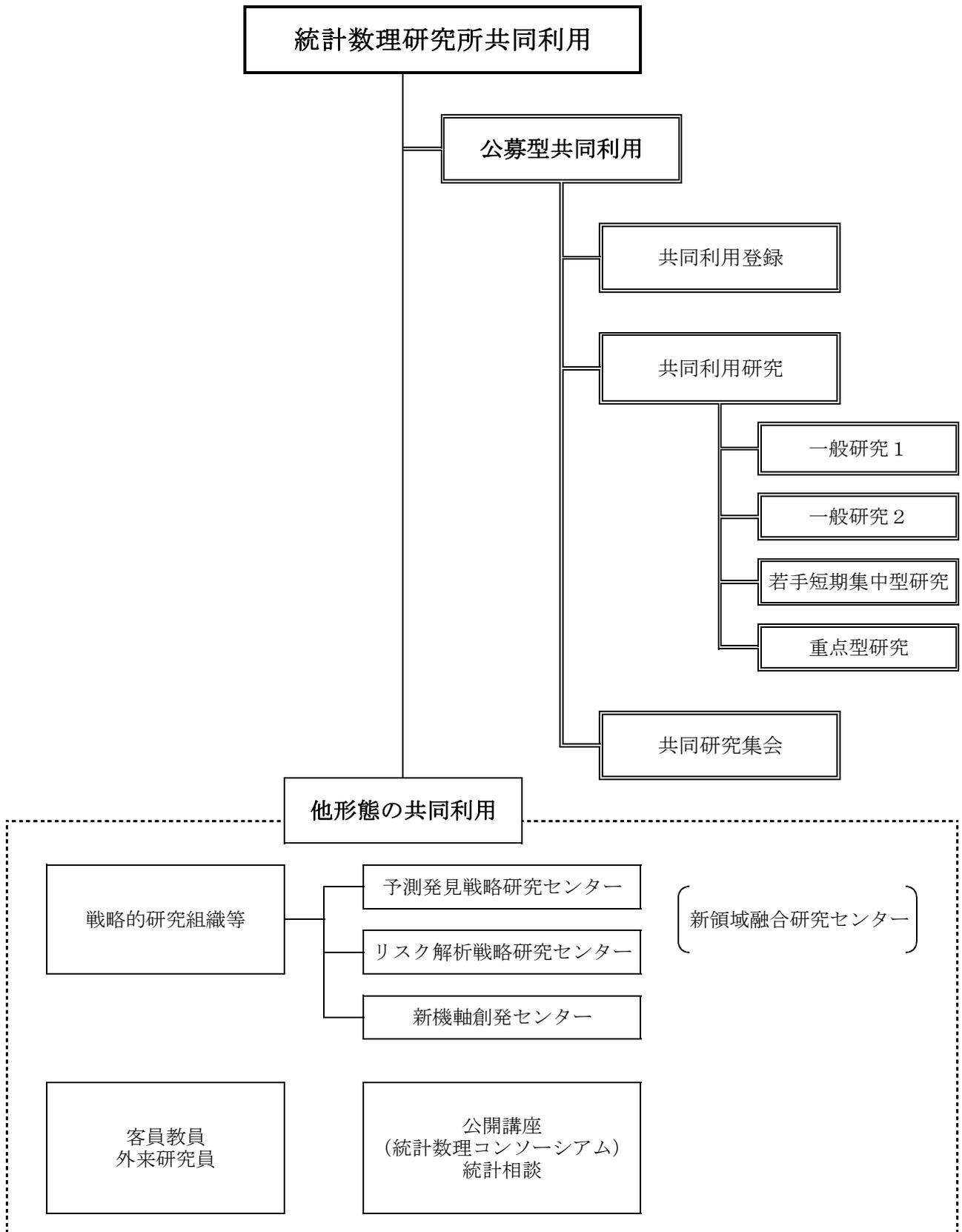
### (2) Akaike Guest House の利用について

2010年6月より、情報・システム研究機構が共同研究者等のための長期滞在型施設として建設した「Akaike Guest House」の利用が開始されました。このゲストハウスは、国立極地研究所及び統計数理研究所の立川移転に伴い、郊外において共同研究者等が長期に滞在できるようにするとともに研究者同士の交流が活発に行われることを目的として両研究所の敷地内に建てられたものです。

ご利用にあたっては、下記ホームページにアクセスしてください。

[http://www.ism.ac.jp/guest\\_house/index.html](http://www.ism.ac.jp/guest_house/index.html)

# 統計数理研究所共同利用の概要図



## II 公募の内容

### 1 参加資格

公募型共同利用への参加資格は、国公立大学・大学院・短期大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国公立試験研究機関及び独立行政法人に所属する国内研究者又は科学研究費補助金の応募資格を有する者(以下、「参加資格者」という。)であることです。

### 2 研究組織

#### (1) 研究代表者（研究組織を代表して申請を行う者）

研究代表者は、原則として参加資格者で、かつ、上記参加資格に記載の機関に研究活動を行うことを職務に含む者として所属する者となります。

研究代表者は、申請の採択決定後、研究実施における中心的な役割を担い、研究実施期間終了後は、成果をまとめた「実施報告書」の作成・提出を行います。

そのため、研究実施期間において、研究代表者の責務を果たせなくなる見込みがある者を研究代表者とする申請は、避けてください。なお、採択決定後、やむを得ない事情により研究代表者を変更する場合は、必要な手続き（P. 34「VII 研究計画の変更等」の「2 研究代表者の変更」参照）をとってください。

#### (2) 研究分担者

研究分担者とは、参加資格者で、研究代表者とともに研究組織を構成する者のことをいいます。

研究分担者には、国公立大学の大学院に所属する学生、平成23年4月から大学院に進学することが確定している学部学生、参加資格に準ずる資格のある外国人（大学院生も含む。）及び外国の所属機関に所属する日本人の研究者、その他、統計数理研究所共同利用委員会（以下、「共同利用委員会」という。）が必要と認めた者も含むことができます。

国公立大学の大学院に所属する学生等は、研究代表者にはなれませんが、指導教員が承諾した場合は、研究代表者として、共同利用登録（P. 5「4 公募する研究種別」の「(1)共同利用登録」参照）の申請を行うことができます。

学部学生は、研究代表者、研究分担者になれません。ただし、卒業研究を目的とし、指導教員が承諾した場合は、研究代表者として、共同利用登録の申請を行うことができます。

※なお、申請の採択後、研究代表者を含み研究組織を構成する者を「共同研究員」といいます。

### 3 実施期間

平成23年度における公募型共同利用の実施期間は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までとします。

### 4 公募する研究種別

#### (1) 共同利用登録

##### ①概要

研究所以外の機関に所属する参加資格者1名が、統計数理に関する研究を行う目的で氏名等を登録するものです。

##### ②経費

申請できません。

##### ③共同利用の範囲

以下のような便宜の提供を受けることができます。

###### ア) 施設等の利用

図書・複写機等の利用ができます。なお、利用にあたっては、研究所の諸規則を厳守し、利用する施設等の管理責任者の指示に従ってください。

###### イ) 計算資源の利用

研究所の計算資源が利用できます。ただし、利用可能な計算資源は申請内容を検討して変更することがあります。

###### ウ) 助言

研究所の研究教育職員（研究所の教授、准教授又は助教をいう。以下「研究所教員」という。）から研究のための助言を受けることができます。その場合は、あらかじめ、研究所教員とアポイントメントをお取りください。

なお、助言者を確定できない場合は、企画グループ研究支援担当にお問い合わせください。

共同利用登録を認められた者（以下「共同利用登録者」という。）は、(P. 32)「VI 施設等の利用」もご参照ください。

## (2) 共同利用研究

統計数理に関する研究を行う目的で公募されます。その概要は以下のとおりです。

### ① 共通事項

#### ア) 研究組織

参加資格者1名以上で組織するものとし、共同利用にふさわしい研究であれば、所外の参加資格者のみの組織であっても、差し支えありません。申請が採択された場合、参加者は、共同研究員となるとともに、自動的に共同利用登録者になります。

ただし、20名以上の参加者があり、研究集会在中心となる場合は、共同研究集会所への申請をご検討ください。

#### イ) 所要経費

所要経費として、研究費（基礎研究費、特別研究費）（※1）及び共同研究員旅費（※2）が申請できます。ただし、一般研究1は所要経費の申請はできません。

また、所要経費とは別に、統計数理研究所共同研究レポート（以下「共同研究レポート」という。）発行の申請を行うことができます。

※1 基礎研究費は、審査時に一定額が配分されますので、改めて申請の必要はありません。特別研究費は、当該研究実施のために特に必要な経費として、別途申請するものです。

※2 共同研究員旅費は、共同研究員が研究所に在所するための費用に充てることを原則とします。

#### ウ) 予算執行責任者

研究の実施に係る予算の執行、研究代表者に協力して各機関及び研究所内の共同研究員への研究連絡等を担当するために、研究所教員1名が予算執行責任者となります。

参加者に研究所教員を含む申請については、研究所教員のうち1名を予算執行責任者として指名（※1）（※2）してください。研究所教員を研究代表者とする申請については、研究代表者が予算執行責任者を兼ねることができます。研究所教員を共同研究員として含まない申請については、採択決定後、共同利用委員会が指名した研究所教員が予算執行責任者になります。

※1 一般研究1は、所要経費（共同研究レポート発行経費を除く。）を伴いませんので、予算執行責任者を指名する必要はありません。また、若手短期集中型研究については「研究を実施する相手方（研究所教員）」が、重点型研究については原則として「企画立案責任者」が予算執行責任者となります。

- ※2 電子申請時に研究所教員1名を参加者として登録した場合、自動的に予算執行責任者として登録されます。複数登録した場合は誰を予算執行責任者とするか選択することができます。

## ②種別

共同利用研究は「一般研究1」、「一般研究2」、「若手短期集中型研究」及び「重点型研究」の4種別に分けて公募します。

### 一般研究1

#### ア) 概要

統計数理に関する一般的な共同利用研究を行うものです。所要経費は交付されませんが、年度途中の申請ができます。

#### イ) 経費

共同研究レポート発行経費のみ申請できます。ただし、年度途中で一般研究1を申請する場合は、共同研究レポート発行経費の申請はできません。

### 一般研究2

#### ア) 概要

統計数理に関する一般的な共同利用研究を行うものです。所要経費は交付されますが、年度途中の申請はできません。

#### イ) 経費

所要経費及び共同研究レポートの発行経費の申請を行うことができます。

### 若手短期集中型研究

#### ア) 概要

研究所外の若手研究者(39歳以下)1名と研究所教員1名程度が特定の研究テーマを決め、研究所において、2週間～1ヶ月程度、連続して集中的に統計数理の研究を行うものです。

#### イ) 経費

交通費、滞在費を含めた所要経費及び共同研究レポート発行経費の申請を行うことができます。

#### ウ) 留意事項

本研究種別は、3件程度の採択を予定しています。

また、研究代表者として申請できる者は、研究所外の若手研究者または、研究所教員に限ります。

※大学院生など研究代表者の資格を持たない若手研究者が申請する場合は、研究所教員を研究代表者とし、当該若手研究者を研究分担者として申請してください。その場合、研究所教員は必ず予算執行責任者として登録してください。

### **重点型研究**

#### ア) 概要

共同利用委員会で決定された複数の重点テーマに基づき、各テーマに関する共同利用研究を募集するものです。

#### イ) 経費

所要経費及び共同研究レポートの発行経費の申請を行うことができます。

#### ウ) 特徴

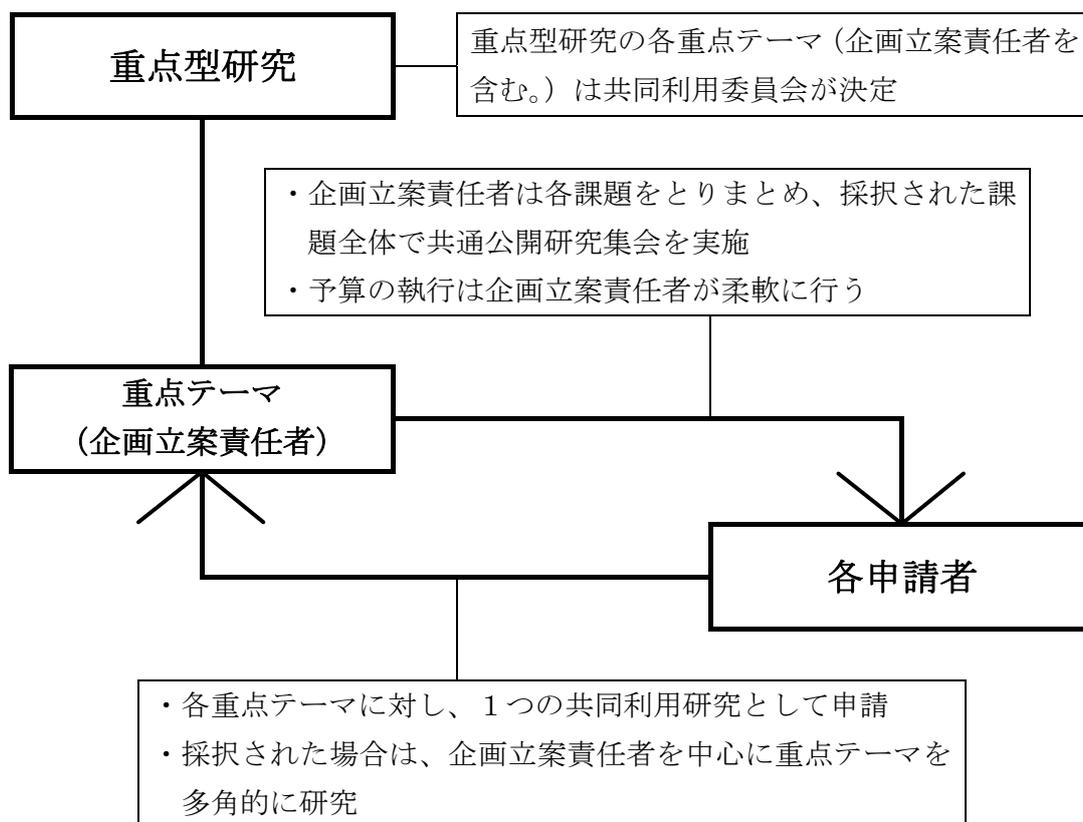
重点テーマごとに「企画立案責任者」を置きます。企画立案責任者は共同利用委員会が決定します。

企画立案責任者を中心にして、傘下の各共同利用研究が重点テーマを多角的に研究します。そのため、重点テーマごとに年1回以上の共通公開研究集会を行います。実施場所は、原則として研究所としますが、研究所外で研究集会を実施することもできます。

経費の執行については、企画立案責任者が傘下の各研究代表者と相談しながら、柔軟に行うことができます。

重点テーマは、最長で2年間継続（1年間の場合もあります。）されます。

【重点型研究の概要図】



【公募する重点テーマ】

平成23年度は、次の重点テーマに関連する共同利用研究を公募します。

- ① 重点テーマ1 : マルコフ連鎖モンテカルロ法の展開
- ② 重点テーマ2 : 癌統計データ解析
- ③ 重点テーマ3 : ゲノム多様性と進化の統計数理
- ④ 重点テーマ4 : サービス科学の深化を支える統計数理科学
- ⑤ 重点テーマ5 : 社会調査関連資源の利活用

重点テーマ1	マルコフ連鎖モンテカルロ法の展開
企画立案責任者	伊庭 幸人（統計数理研究所モデリング研究系 准教授）
ねらい	マルコフ連鎖モンテカルロ法（MCMC）とその応用に関する課題を公募します。MCMCが広く統計科学に応用されるようになってから20年近くがたち、データ解析の現場にも浸透してきました。この重点テーマではMCMCの応用・手法開発・理論に関する共同研究を募集します。MCMCに関連したものであれば内容は特に限定しませんが、統計科学の内外での新しい応用の探索やMCMC・階層ベイズを利用する諸分野の交流を課題に含むものを特に歓迎します。
キーワード	マルコフ連鎖モンテカルロ法（MCMC）、階層ベイズ、MCMCの新しい応用の探索、MCMCを通じた諸分野の交流

重点テーマ2	癌統計データ解析
企画立案責任者	加茂 憲一（札幌医科大学 医療人育成センター 准教授） 吉本 敦（統計数理研究所 数理・推論研究系 教授）
ねらい	癌は日本における死因のトップであり、患者・家族・社会に対する負担も非常に大きい疾患の1つです。本重点テーマの狙いは、人口動態統計やがん登録データを基に、統計的アプローチによる癌の動向やリスクの評価を行うことにあります。これらの正確な把握は、癌の実態解明や効果的な政策の立案に寄与する重要な課題です。癌の実態把握の需要に応えるための統計手法に関する幅広い研究の応募をお待ちします。
キーワード	疫学統計、時系列解析、リスク評価、人口動態統計、がん登録

重点テーマ3	ゲノム多様性と進化の統計数理
企画立案責任者	佐々木 顕（総合研究大学院大学 先導科学研究科 生命共生体科学専攻 教授） 間野 修平（統計数理研究所 数理・推論研究系 准教授）
ねらい	ゲノム決定技術の革新に伴い、個体レベルのゲノムの膨大なデータが現れつつあります。現存するゲノム多様性から生物進化の原理を理解し、未来を予測するためには、汎用的統計的手法の適用に留まらず、ゲノム進化の数理を組み込んだモデリングが重要になると考えられます。例えば、ゲノム多様性の共進化のモデルにより病原体と宿主免疫の進化的相互作用を推測し、感染症の流行・進化予測・ワクチン開発に挑戦する試み、ゲノム多様性の地理的分布のモデルによりヒトや他の生物の移動・侵入・適応の歴史を再構築する試み、さらにはゲノム多様性に基づき絶滅危惧種の保全政策を立案することなども可能になると思われます。本共同利用研究では、ゲノム多様性と進化に基づく問題解決のための統計数理の新しい展開を目指す研究を公募します。
キーワード	進化過程、数理モデル、統計モデル、抗原多様性、地理的多様性、進化予測、歴史の推測、多様性保全

重点テーマ 4	サービス科学の深化を支える統計数理科学
企画立案責任者	椿 広計 (統計数理研究所 データ科学研究系 教授)
ねらい	サービスにたいして科学的に接近しようとする、そのパフォーマンスが物理化学法則とは別のデザインされたプログラムにより支配されること、人間社会的環境との相互作用が大きいこと、その最適な設計には従来の統計モデリングや最適化数理を融合した接近が必要なことなど、多くの統計数理的課題があることに気づく。ここでは、サービス科学の高度化に必要な統計数理的研究課題、統計数理的方法論の有機的活用によって大きな成果が得られるであろう特定サービス分野を対象とした研究、サービス研究高度化に必要なデータベース整備など多くの研究課題を公募する。
キーワード	ベイズモデリング、潜在クラスモデリング、コミュニケーションのモデリング、価値発見プロセスのモデル、サービスプロセス記述モデル、離散最適化

重点テーマ 5	社会調査関連資源の利活用
企画立案責任者	前田 忠彦 (統計数理研究所 データ科学研究系 准教授) 土屋 隆裕 (統計数理研究所 データ科学研究系 准教授)
ねらい	<p>統計数理研究所には、所外の研究者との共同研究を通じてより詳細な分析成果を挙げることが期待される新旧の調査データが多数蓄積されています。本重点テーマでは、このうち以下の 3 つのタイプの社会調査関連資源を共同利用研究のために共有し、解析成果の創出を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「日本人の国民性調査」 (時系列集計・詳細クロス集計の共有) : 担当 土屋隆裕</li> <li>2. 「マスコミの効果調査」 (一部調査時点の個票データの共有) : 担当 土屋隆裕</li> <li>3. 「2010 年 格差と社会意識についての全国調査」 (個票データの共有) : 担当 前田忠彦</li> </ol> <p>タイプによってデータ提供の形は異なり、それぞれ利用条件が付されるので、応募にあたっては、必ず担当オーガナイザに連絡の上、内容を相談して下さい。</p> <p>照会先: <a href="mailto:ks_info@ism.ac.jp">ks_info@ism.ac.jp</a> (オーガナイザ 2 名宛)</p>
キーワード	日本人の国民性調査、クロス集計表、個票データ、調査データ解析

### (3) 共同研究集会

#### ①概要

統計数理の研究及び関連領域との交流を活性化させることを目的として、研究集会を開催するものです。

#### ②経費

所要経費及び共同研究レポートの発行経費の申請を行うことができます。

#### ③参加者

特に人数制限はありません。ただし、20名以上の参加者がある場合、優先的に採択されます。

(注意)

申請が採択された場合、共同研究集会の参加者は共同利用登録者になりません。計算資源や施設等の利用を希望する場合は、別途、共同利用登録の申請が必要となります。ただし、複写機の利用はできます。

#### ④開催

公開とします。

#### ⑤広報

採択された共同研究集会の開催日程・内容の概要等を周知するため、実施年度当初から、研究所のホームページ、メーリングリスト等を活用した広報活動を行うことができます。広報活動は、予算執行責任者をとおして行ってください。

#### ⑥共同研究レポート

共同研究レポートを可能な限り発行し、希望者に広く配布できるようにしてください。共同研究レポートの発行の予定がない場合は、発表要旨集を用意し、企画グループ研究支援担当に3部提出してください。

#### ⑦開催場所

原則として研究所とします。研究所外で共同研究集会を開催する場合は、その理由を電子申請の際に「共同研究集会申請」画面の「開催場所」及び「開催場所変更理由」の項目へ詳細に記入してください。

#### ⑧予算執行責任者

研究集会の開催に係る予算の執行、研究代表者に協力して各機関及び研究所内の参加者への研究連絡、共同研究集会開催の広報等を担当するために、研究所教員1名が予算執行責任者となります。

参加者に研究所教員を含む申請については、研究所教員のうち1名を予算執行責任者として指名(※1)してください。研究所教員を研究代表者とする申請については、研究代

表者が予算執行責任者を兼ねることができます。研究所教員を参加者として含まない申請については、採択決定後、共同利用委員会が指名した研究所教員が予算執行責任者になります。

※1 電子申請時に研究所教員 1 名を参加者として登録した場合、自動的に予算執行責任者として登録されます。複数登録した場合は誰を予算執行責任者とするか選択することができます。

## 5 共同研究レポート

共同利用の成果を公開するため、研究所では共同研究レポートを発行しています。

### (1) 対象

平成 22 年度又は平成 23 年度の共同利用研究もしくは共同研究集会の成果について、共同研究レポートとして登録の上、印刷・発行することができます。

### (2) 発行手続

平成 23 年度申請分について共同研究レポートの発行を希望する場合は、電子申請にて研究課題申請を行う際に、「共同研究レポート発行経費申請」画面より共同研究レポート発行経費の申請を行なってください。詳細については「Appendix A 公募型共同利用電子申請システム操作説明」内の、(P. 61)「2 課題申請」をご参照ください。

平成 22 年度実施分について、共同研究レポートの発行を希望する場合は、「共同研究レポート発行経費申請書」(様式 A-4) をホームページからダウンロードし、申請期日までに提出してください。

### (3) 製本仕様

- ・規格 . . . B5 判 縦型 左とじ
- ・印刷・製本方法等 . . . 写真製版/無線とじ、くるみ表紙  
(表紙：レザック・ブルー系)

### (4) 留意事項

共同研究レポートは、個々の共同利用研究等に配分される経費とは別枠で予算措置を行います。共同研究レポートの経費・様式・発行手続等について不明な点がある場合は、予算執行責任者もしくは企画グループ研究支援担当にお問い合わせください。

共同研究レポートを発行した場合は、企画グループ研究支援担当に **3 部提出** してください。

参考として、(P. 42) に現在までに発行した共同研究レポートの一覧を示しています。

### Ⅲ 経費

#### 1 経費の性格

公募型共同利用に係る経費は、科学研究費補助金等のような補助金的な性格のものではなく、研究所において、所定の会計諸手続きによって執行されるものです。

#### 2 経費の区分

経費は、「研究費」と「共同研究員旅費」に区分されます。

##### (1) 研究費

研究費は、「基礎研究費」と「特別研究費」に区分されます。

##### ①基礎研究費

審査時に一定額（数万円程度）が配分され、以下の用途に使用することができます。

- ・研究遂行や研究集会開催のために必要な消耗品（一般的な事務用品は除く）
- ・消耗品としての図書
- ・会議費
- ・研究所教員の旅費
- ・雇用経費（研究補助・資料整理、野外調査補助、研究集会開催を補助する者を雇用する費用等）
- ・謝金
- ・レンタル費用（自動車、実験器具・機器等）
- ・通信費 など

ただし、以下の用途には使用できません。

- ・施設の工事費
- ・什器類の購入
- ・薬品等の購入
- ・学会等への参加費・登録料
- ・その他、研究目的・計画にそぐわないもの

##### ②特別研究費

基礎研究費として配分される経費の他に、研究実施に必要な経費の申請を希望する場合、特別研究費の項目で申請することができます。基礎研究費と同じ用途に使用することができます。

ただし、特別研究費として申請できる金額の合計は「15万円以内」とします。

### 【注意事項】

基礎研究費は、審査時に一定額（数万円程度）を配分しますので、電子申請の「所要経費内訳」画面で入力する必要はありません。

消耗品等の購入は、予算執行責任者を通じて、統数研・極地研共通事務センター用度担当（以下、共通事務センター用度担当）が行いますので、共同研究員が独自に業者へ発注されることのないように十分ご注意ください。

ソフトウェア・パッケージに関しては、そのソフトウェアが研究所のスーパーコンピュータあるいはパソコンなどに既にインストールしてあり、共同利用可能な場合は、原則として購入を認めていません。どうしても必要な場合は、理由書（様式自由 A4サイズ）を提出してください。

## （2）共同研究員旅費

### ①支給の対象

共同研究員が研究所に来所するための費用、共同研究集会の実施場所に出張するための費用、在勤地外において野外調査や資料収集を行う場所へ行くための費用として充てることを原則とします。

ただし、旅行者が当該採択課題に参加者として登録されていない場合は、支給することができません。旅行者を参加者として登録する場合は「研究組織の変更等」（P. 34 「Ⅶ 研究計画等の変更」参照）に従い、必要な手続きをとってください。

支給については、情報・システム研究機構旅費規程及び研究所における旅費支給に関する基準によります。

### ②支給の制限

立川市内在勤者が来所するための旅費は、支給の対象になりません。また、学会等へ参加するための旅費、海外へ出張するための旅費としても支給できません。

研究所教員の旅費（野外調査、資料収集の場合も含む。）は、共同研究員旅費では申請できません。研究費のうち、基礎研究費もしくは特別研究費の項目で申請又は措置するようにしてください。

高額な交通費、又は外国の機関に所属する者が来所するための交通費も申請できますが、1人あたり20万円、1件あたり2名を上限とします。実際に20万円を超える額が必要となる場合、不足分については、他の経費で賄ってください。

### ③出張依頼

公募型共同利用の実施にあたって、当研究所から共同研究員の所属機関に対する公文書による出張依頼は、原則として省略しています。出張依頼が必要な場合は、企画グループ研究支援担当までご連絡ください。

### 3 予算の執行手続き

使用にあたって不明な点がある場合は、予算執行責任者をとおして、企画グループ研究支援担当にご相談ください。

#### (1) 研究費

消耗品等の購入については、研究所の所定の様式により、予算執行責任者をとおして、共通事務センター用度担当に請求してください。

なお、野外調査等において補助者を必要とする場合には、研究所の実施基準により諸手続きを行っていただきますので、ご承知おきください。

謝金等の支給については、研究所の所定の様式により、予算執行責任者をとおして、企画グループ財務担当に請求してください。

#### (2) 共同研究員旅費

予算執行責任者と十分に連絡をとった上、「出張計画書」(様式B-1)を、出張初日の3週間前までに、予算執行責任者に提出してください。

なお、共同研究員旅費は精算払いとし、旅行及び関係書類を確認した後、銀行振込により支給します。

#### (3) 研究所教員の旅費

「出張計画書」(様式B-1)を、出張初日の2週間前までに、研究代表者の確認を得て、予算執行責任者に提出してください。

## IV 申請方法等

### 1 申請方法

申請に必要な情報を公募型共同利用電子申請システムから登録してください。

承諾書（所属長の押印があるもの。）については、別途郵送してください。

※研究所教員は承諾書は不要です。

公募型共同利用電子申請システムのサイトの URL は以下の通りです。承諾書については申請内容の登録が完了したあと、同サイトから PDF ファイルをダウンロードすることができます。

URL <http://kyodo.ism.ac.jp>

（統計数理研究所ホームページ→共同利用→公募型共同利用電子申請システム）

なお、申請を行った場合には、申請者に対して企画グループ研究支援担当から受領のメールをお送りしますのでご確認ください。承諾書提出後 1 週間経過しても確認メールが届かない場合は、必ず企画グループ研究支援担当までお問い合わせください。

#### <承諾書等の送付先、問い合わせ先>

情報・システム研究機構 統計数理研究所 企画グループ研究支援担当

〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3

T E L : 050-5533-8513.8514

F A X : 042-527-9302

E-mail : [kyodo@ism.ac.jp](mailto:kyodo@ism.ac.jp)

### 2 申請情報登録

申請にあたっては、(P. 18)「研究課題申請画面一覧表」に基づき、必要な情報を各画面から登録してください。

申請書類等の作成にあたっては、(P. 20)「電子申請の登録・入力上の注意」に従い、誤字・脱字、記入漏れ等がないよう正確に入力してください。

「承諾書」については、研究代表者の押印及び研究代表者の所属機関の所属長の押印（公印に限る。）がある原本を別途郵送にて提出してください。

共同研究レポートの発行を希望する場合は、共同研究レポート発行経費申請画面から必要事項を登録してください。

【研究課題申請画面一覧表】

研究形態		研究課題申請画面一覧	操作説明
共同利用登録		共同利用登録申請	P 6 5
		承諾書ダウンロード	P 8 2
共同 利用 研 究	一般研究 1	一般研究 1 申請	P 6 6
		研究分担者登録	P 7 1
		所要経費内訳（レポート発行経費のみ）	P 7 9
		承諾書ダウンロード	P 8 2
	一般研究 2	一般研究 2 申請	P 6 7
		研究分担者登録	P 7 1
		所要経費内訳	P 7 7
		承諾書ダウンロード	P 8 2
	若手短期集中型研究	若手短期集中型研究申請	P 6 8
		研究分担者登録	P 7 1
		所要経費内訳	P 7 7
		承諾書ダウンロード	P 8 2
	重点型研究	重点型研究申請	P 6 9
		研究分担者登録	P 7 1
		所要経費内訳	P 7 7
		承諾書ダウンロード	P 8 2
共同研究集会		共同研究集会申請	P 7 0
		研究分担者登録	P 7 1
		所要経費内訳	P 7 7
		承諾書ダウンロード	P 8 2

※研究所教員は、承諾書の提出の必要はありません。

### 3 申請期日

**平成 2 2 年 1 2 月 2 0 日（月）【締切厳守】**

上記締切日までに、必要書類を提出してください。

※年度途中の「共同利用登録」及び「一般研究 1」の申請について

- (1) 「共同利用登録」は、平成 2 3 年 4 月 1 日～3 月中旬まで随時受け付けます。
- (2) 「一般研究 1」は、平成 2 3 年 4 月 1 日以降においても研究期間が 3 ヶ月以上確保できる場合には申請を随時受け付けます。この場合の申請期間は、平成 2 3 年 4 月 1 日（金）から平成 2 3 年 1 2 月 1 6 日（金）までとします。  
 なお、年度途中において一般研究 1 の申請をする場合、共同研究レポートの発行の申請はできません。

区 分	項 目	研究費	共同研究員 旅費	リポート 発行経費	施設等の 利用	年度途中 の申請
	共同利用登録	×	×	×	○	○※3
	一般研究 1	×	×	△※1	○	○※4
	一般研究 2	○	○	○	○	×
	若手短期集中型研究	○	○	○	○	×
	重点型研究	○	○	○	○	×
	共同研究集会	○	○	○	△※2	×

○：申請可能

×：申請不可

△※1：年度途中の申請については、リポート発行経費を申請できません。

△※2：別途、共同利用登録を申請し、採択された場合は利用可能です。

○※3：年度途中の申請は4月1日（金）～3月中旬までの間、受け付けます。

○※4：年度途中の申請は4月1日（金）～12月16日（金）までの間、受け付けます。

## 電子申請の登録・入力上の注意

以下は「Appendix A 公募型共同利用電子申請システム操作説明」内の、(P. 61)「2 課題申請」に記載されている、電子申請における課題申請登録に関する注意事項となります。

### 1 研究代表者登録

研究代表者のアカウントを作成する為にユーザ情報の登録を行います。なお、どの課題の研究代表者にもならず、研究分担者としてのみ参加されている方についても、ユーザ ID を登録すればシステムにログインすることが可能です。

#### (1) ユーザ ID 登録

本システムではメールアドレスをユーザ ID として使用します。その為、最初にメールアドレスの登録を行ってください。登録する電子メールアドレスについては、登録直後に研究代表者情報登録用の URL を記載したメールを送信しますので、必ず正確に入力してください。

(※研究支援担当よりの連絡に使用させて頂く場合がありますので、添付ファイルが受信できるアドレスをご記入願います。)

#### (2) 研究代表者情報記入欄

所属機関名、所属機関長姓名、所属部局、役職名、専門分野、所在地、電話番号、FAX 番号及び URL については、申請時のものを必ず正確に入力してください。大学又は大学院に所属の教員については、学科名又は専攻名まで入力してください。

また、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス及び URL について、Web 等での公開を希望しない場合は、「名簿、Web 等で公開しない」を選択してください。

大学院生、学部生が共同利用登録に申請する目的で研究代表者登録を行う場合は、専攻、学部等、学年まで記入してください。

### 2 共同研究課題内容申請登録

英語で入力された電子申請も受け付けます。ただし、電子申請に登録する研究代表者の情報及び「研究分担者登録」画面から登録する研究分担者の情報については、可能な限り日本語で記入してください。

#### (1) 整理番号

整理番号については書類整理に使用するものであり、電子申請時に自動的に発行されます。

#### (2) 研究課題名、研究集会名

平成23年度に申請する研究課題名もしくは研究集会名（以下「研究課題名等」とい

う。)を記入してください。

なお、実施期間中の研究課題名等の変更は認めません。

#### ①共同利用登録

複数の研究課題名で申請することができます。この場合、研究課題名の区分が明確になるよう、各研究課題名の文頭に番号(例:①)を付してください。

#### ②若手短期集中型研究

「実施日程」欄に研究を実施する期間を記入してください。

「研究分担者登録」画面に研究を実施する相手方(研究所教員)の情報を入力してください。なお、複数の研究所教員と研究を実施する場合は、主として研究を実施する研究所教員を1番目に入力してください。

「年齢」欄には、平成23(2011)年4月1日現在における研究代表者の年齢を入力してください。ただし、本研究種別で申請する場合は、研究代表者の年齢が「39歳以下」であることが条件となります。

※大学院生など研究代表者の資格を持たない若手研究者が申請する場合は、研究所教員を研究代表者とし、当該若手研究者を研究分担者として申請してください。その場合、研究所教員は必ず予算執行責任者として登録してください。

#### ③重点テーマ

「重点テーマ」欄から申請を希望する重点テーマ名を選択してください。

#### ④共同研究集会

開催日程、開催場所を入力してください。開催場所を統計数理研究所以外とする場合はその理由も合わせて入力してください。

### (3) 分野分類

申請研究課題のテーマ(以下「研究テーマ」という。)に関連する分野分類(「統計数理研究所内分野分類」と「主要研究分野分類」)をそれぞれの(P. 24)「表1 統計数理研究所内分野分類」、「表2 主要研究分野分類」に記載された一覧のとおり、電子申請画面から選択してください。なお、これらの分類は申請書類の整理に用いるだけで審査には影響しません。

#### ①統計数理研究所内分野分類

統計数理研究所における研究組織グループ名に対応します。詳細は表1に記載のそれぞれのURLをご覧ください。研究テーマが複数のグループ名に対応する場合は、もっとも主要と思われるものを記入してください。対応するグループがない場合は「j その他」を記入してください。

## ②主要研究分野分類

研究テーマが複数の分野に対応する場合は、もっとも主要と思われるものを記入してください。同等の主要なものが複数含まれる場合は、その中からランダムに1つお選びください。

## (4) 新規・継続の区分

新規に申請する場合は「新規」欄にチェックしてください。前年度以前から同じ研究テーマで継続して申請する場合は「継続」にチェックし、研究開始年を入力してください。

## (5) 共同研究参加者情報

「参加者数」欄には、研究代表者と「研究分担者登録」画面で登録した研究分担者をあわせた人数が表示されます。その内訳として、「所内」欄には研究所教員の参加者数が、「所外」欄には共同研究員の参加者数が表示されます。

## (6) 予算執行責任者（共同利用登録及び一般研究1は除く。）

研究所教員（教授、准教授、助教のいずれか）を参加者に含む共同利用研究及び共同研究集会の申請については、研究所教員1名が予算執行責任者として指定されます。研究所教員を参加者に含まない共同利用研究及び共同研究集会の申請については、採択決定後、共同利用委員会で適任と判断した研究所の教育研究職員を予算執行責任者として指名します。

## ①若手短期集中型研究

研究を実施する相手方（研究所教員）が指定されます。

なお、複数の研究所教員と研究を実施する場合は、「研究所教員氏名」欄から選択した研究所教員が予算執行責任者となります。

## ②重点型研究

原則として申請する重点テーマの企画立案責任者（研究所教員）が指定されます。ただし、例外として企画立案責任者が予算執行責任者の条件を満たしていない等の場合は、任意で予算執行責任者を指定する必要があります。

## (7) 所要経費

「所要経費内訳」画面に入力した申請金額の合計が円単位で「合計」欄に表示されます。その内訳として、「特別研究費」欄には研究費の申請金額の小計が、「共同研究員旅費」欄には共同研究員旅費の小計金額が、それぞれ円単位で表示されます。

## (8) リポート発行希望の有無

共同研究リポートの発行を希望する場合は、「リポート発行希望の有無」欄から「有」

を選択し、「共同研究レポート発行経費申請」画面から必要事項を入力してください。  
発行計画がない場合は、「レポート発行希望の有無」欄から「無」を選択してください。

(9) 研究概要・目的、研究計画

できる限り詳細に記載してください。記載が過少で、審査のために不十分である場合には、再度登録を求めることがあります。この公募型共同利用は、単なる助成研究ではありません。統計数理研究所教員と十分な議論を行い、研究を進めてください。

なお、電子申請での制限事項として、それぞれ 4000 文字以内での入力となります。また、画像等の使用はできません。

※共同研究集会

「プログラム案」欄に日程、参加者数、講演予定者等について記載してください。なお、申請時に詳細なプログラムが決定していない場合は、おおよその予定でかまいません。

(10) 継続が3年を超える理由を記載する欄については、具体的な理由を記載してください。

また、内容が前年度と異なる場合は、研究課題名を変更することもご検討ください。

(11) その他留意事項

個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合は、どのような措置を講じるのか記述してください。ヒト及び動物を対象とした医学関係の研究については、倫理委員会等による倫理規定をみたしていなければなりません。

ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則（ヘルシンキ宣言）全文和訳は、日本医師会のホームページ ([http://www.med.or.jp/wma/helsinki02\\_j.html](http://www.med.or.jp/wma/helsinki02_j.html)) に掲載されています。

また、医学研究に係る厚生労働省の指針一覧

(<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/>) も参考にしてください。

【表 1】 統計数理研究所内分野分類

番号	分 野	参照 URL
a	時空間モデリング分野	<a href="http://www.ism.ac.jp/organization/sec_modeling.html">http://www.ism.ac.jp/organization/sec_modeling.html</a>
b	知的情報モデリング分野	
c	グラフ構造モデリング分野	
d	調査解析分野	<a href="http://www.ism.ac.jp/organization/sec_data.html">http://www.ism.ac.jp/organization/sec_data.html</a>
e	多次元データ解析分野	
f	計算機統計分野	
g	統計基礎数理分野	<a href="http://www.ism.ac.jp/organization/sec_analysis.html">http://www.ism.ac.jp/organization/sec_analysis.html</a>
h	学習推論分野	
i	計算数理分野	
j	その他	—

【表 2】 主要研究分野分類

番号	分 野	主要研究領域
1	統計数学分野	統計学の数学的理論、最適化など
2	情報科学分野	統計学における計算機の利用、アルゴリズムなど
3	生物科学分野	医学、薬学、疫学、遺伝、ゲノムなど
4	物理科学分野	宇宙、惑星、地球、極地、物性など
5	工学分野	機械、電気・電子、制御、化学、建築など
6	人文科学分野	哲学、芸術、心理、教育、歴史、地理、文化、言語など
7	社会科学分野	経済、法律、政治、社会、経営、官庁統計、人口など
8	その他	上記以外の研究領域

### **3 共同研究レポート発行経費申請登録**

(1) 研究課題名等

平成23年度申請分について共同研究レポートの発行を希望する場合は電子申請時に、「共同研究レポート発行経費申請」画面から必要事項を入力してください。平成22年度実施分について共同研究レポートの発行を希望する場合は「共同研究レポート発行経費申請書」(様式A-4)に採択された研究課題名等を記入してください。

(2) 課題番号

平成22年度の共同利用の成果について共同研究レポートの発行を申請する場合のみ、「共同研究レポート発行経費申請書」(様式A-4)に当該研究課題名等の課題番号を記入してください。

(3) 発行予定年月

平成23年度内(平成24年3月31日まで)に発行してください。

(4) 発行予定部数・頁数

できる限り具体的な数字を記入してください。

(5) 発行経費額

算出できない場合は空欄で構いません。

## 4 研究分担者登録

「表3 研究分担者の記入例」を参考にして、誤字・脱字、記入漏れがないよう正確に入力してください。

なお、研究代表者の情報は、「研究分担者登録」画面に入力しないでください。

(※研究支援担当よりの連絡に使用させて頂く場合がありますので、添付ファイルが受信できるアドレスをご記入願います。)

### (1) 研究分担者情報入力欄

参加者の所属機関名、部局名、職名、所在地、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス及び URL については、申請時のものを必ず正確に入力してください。大学又は大学院に所属の教員については、学科名又は専攻名まで入力してください。

大学院学生が研究分担者に含まれている場合、その所属部局については専攻名まで、年次については申請時の年度における年次を入力してください。

学部学生は、研究分担者に含むことができません。ただし、平成23年4月から大学院に進学することが確定している学部学生は、研究分担者に含むことができます。この場合、所属機関・部局には進学先（専攻名まで）を入力し、職名欄に平成23年4月から大学院生となる旨記載してください。

なお、専門分野は、自身が専門とする分野を自由に記入してください。研究分担者については、当該本人に確認のうえ、自由に記入してください。

また、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス及び URL について、電子等での公開を希望しない場合は、「名簿、Web 等で公開しない」を選択してください。

### (2) 研究分担者自身が入力した情報の使用及びその承諾

ユーザ ID が登録されている研究分担者については、当該の申請課題に対して分担者自身が入力したユーザ情報の使用を承諾することができます。ユーザ情報の使用が承諾された申請課題の研究代表者は、代表者が入力したユーザ情報と分担者自身が入力したユーザ情報のどちらを使用するか選択することができます。なお、分担者は一度承諾した申請課題についてユーザ情報の提供を取り消すことが可能です。その場合、分担者自身が入力したユーザ情報は使用できなくなり、代表者が入力したユーザ情報が強制的に選択されます。

### ※共同研究員名簿の作成

申請書及び研究分担者表に記載された情報に基づき、氏名、専門分野、電子メールアドレス、所属機関・所在地・電話番号、課題番号、課題名を収録した印刷形態の「共同研究員名簿」を作成し、配布します。そのため、申請情報及び研究分担者情報は正確に入力してください。また、申請が採択された後、共同研究員の所属機関や部局等に変更が生じた場合、または共同研究員の追加・辞退がある場合は、(P. 34)「Ⅶ 研究計画の変更等」に従い、所定の電子申請画面にて必要事項を入力してください。なお、研

究代表者の異動・変更の場合は「承諾書（研究代表者の異動）」または「承諾書（研究代表者の変更）」をダウンロードして必要事項を記入し、速やかに企画グループ研究支援担当まで提出してください。

共同研究員名簿の作成にあたっては、研究代表者あてに、記載事項について照会を行いますので、ご承知おきください。

ただし、各種情報の名簿等での公開を承諾されない方は、電子申請の「ユーザ ID 登録」画面及び「研究分担者登録」画面の所定の箇所で「名簿、Web 等で公開しない」を選択してください。

### (3) 予算執行責任者

共同利用研究（一般研究 1 を除く）又は共同研究集会上に申請する場合で、予算執行責任者が決まっている場合は、「課題内容確認」画面で予算執行責任者を選択してください。

なお、若手短期集中型研究については、研究を実施する相手方（研究所教員）が予算執行責任者となります。

### (4) 外国人

研究分担者に外国人を含む場合は、登録内容を英語で表記してください。

氏名は、Last Name, First Name, Middle Name の順に書いてください。

（例：Geller, Thomas J.）

漢字名のある方は漢字表記と英語表記の両方を入力してください。

**【表 3】研究分担者の記入例**

区分	所属機関	所属部局	職名
大学所属の教員	〇〇大学	〇〇学部〇〇学科	教授
大学院所属の教員	〇〇大学	大学院〇〇研究科〇〇専攻	教授
官公庁所属の研究者	〇〇省	〇〇研究所〇〇部	主任研究員
独立行政法人所属の研究者	〇〇研究所	〇〇部	研究員
日本学術振興会特別研究員	〇〇大学	〇〇研究所	学振特別研究員
大学院生	〇〇大学	大学院〇〇研究科〇〇専攻	博士後(前)期課程〇年 修士課程〇年

## 5 所要経費内訳登録

共同利用研究（一般研究1を除く。）及び共同研究集会において所要経費を申請する場合、所要経費内訳登録に当たっては、正確かつ具体的に入力してください。

事項欄は「統計関係書籍」、「関連ソフトウェア」といった表現は避け、研究目的との関連がわかるようにできるかぎり具体的な表現を用いてください。そのため、所要経費内訳表の所定欄に「研究目的・計画と所要経費との関係」を記入し、申請する事項の必要性を明確にしてください。

なお、基礎研究費（数万円程度を支給）以外の所要経費を必要としない場合は、それぞれの合計欄は「0」のままとして登録してください。

### （1）研究費について

#### ①基礎研究費

（P. 14）「Ⅲ 経費」に記載した用途に使用できるものです。申請時において、事項を記入する必要はありません。また、金額についても審査時に一定額（数万円程度）を配分しますので、記入する必要はありません。

#### ②特別研究費

基礎研究費として措置される金額（数万円程度）以外に、研究所教員の旅費、人件費、消耗品としての図書費、謝金、通信費等の事項を申請する場合は、「特別研究費」の欄に具体的に記入してください。

ただし、特別研究費として申請できる金額の合計は「15万円以内」とします。

#### ※雇用経費

研究補助等及び野外調査補助については1時間当たり970円を目安として積算願います。

なお、雇用経費の対象となる業務は、研究集会開催補助、研究補助・資料整理及び野外調査補助に限られます。

#### ※会場借料

やむを得ない事情がある場合は、研究所外で開催する研究集会の会場借料の支出をすることができます。

#### ※「所要経費内訳」画面で入力する必要のないもの

- ・基礎研究費（審査時に一定額（数万円程度）を配分）
- ・複写費（一括して計上するため）
- ・共同研究レポート発行経費（発行を希望する場合は、別途、「共同研究レポート発行経費申請」画面での入力）

(2) 共同研究員旅費について

以下の基準により支給します。申請時は概算でも構いませんが、どの研究分担者に旅費が必要となるのか分かるように入力してください。共同研究集会の申請について、講演者が未定の場合で旅費が必要の際は、その理由を入力してください。雇用経費による者は、野外調査補助に関わる場合、旅費を支給することができます。

【表 4】共同研究員旅費支給基準

鉄道賃	① 旅行区間の運賃 ② 特別急行列車を運行している区間が片道 100km 以上あって当該路線を片道 100km 以上旅行する場合には、当該特別急行料金 ③ 普通急行列車が運行している区間が片道 50km 以上あって当該路線を片道 50km 以上旅行する場合には、当該急行料金 注) 特別車両料金（グリーン料金）は支出することができません。
航空賃	当該区間の航空運賃（航空機利用の場合は、領収書の提出が必要）
日当・宿泊料	情報・システム研究機構旅費規程に応じた額

(参考) 平成 22 年度所要経費配分実績

	研究費		共同研究員 旅 費
	基礎研究費	特別研究費	
金 額	3, 6 8 0 千円	0 千円	1 7, 2 3 3 千円
件 数	9 2 件	0 件	8 3 件
1 件あたり平均金額	4 0 千円	0 千円	2 0 8 千円

## 6 承諾書

承諾書は各申請内容の入力完了後にダウンロード可能となります。

### (1) 押印

研究代表者の押印及び研究代表者の所属機関の所属長の押印（公印に限る。）がある原本を必ず郵送にて提出してください。この場合、所属長を所属機関長と読み替えても、差し支えありません。

### (2) 大学院生・学部学生

共同利用登録の申請において、申請者が国公立大学の大学院生、研究生、日本学術振興会の特別研究員等のいわゆるポストクの地位を有する者あるいは卒業研究を目的とする学部学生の場合は、指導教員の承諾が必要です。承諾書の所属長は、指導教員と読み替えてください。

### (3) 研究形態

「研究形態」欄には、申請した研究形態（共同利用登録、一般研究1、一般研究2、若手短期集中型研究、重点型研究及び共同研究集会のいずれか）が記載されます。

### (4) 整理番号

電子申請システム共同研究課題一覧画面に表示される「整理番号」と承諾書の整理番号が一致しているかを確認してください。

## V 審査等

### 1 審査

#### (1) 申請課題の採否決定について

審査は、共同利用委員会で行います。

審査の過程でいくつかの事項を修正すれば優れた研究になると判断された申請については、その旨を申請者に通知し、再度申請書を提出していただいた後、再審査することがあります。継続申請の場合は、申請時までの成果を参考にして審査を行います。優れた成果を挙げている研究については優遇措置をとりますが、成果に問題があると判断された場合は、計画の修正等を要求することもあります。

#### ※研究形態の変更について

一般研究2で申請した場合でも、共同研究集会としての研究形態に近いと判断された場合には、共同研究集会の申請として、審査される場合があります。

また、若手短期集中型研究、重点型研究又は共同研究集会で申請した場合でも、記載された研究計画の内容によっては、一般研究2の申請として審査される場合があります。

#### (2) 各採択課題への配分経費決定について

審査は、共同利用委員会で行います。

採択が決定した共同利用研究（一般研究1を除く。）及び共同研究集会について、共同研究経費として研究費及び共同研究員旅費を配分します。ただし、審査結果、予算配分の都合等により、減額調整することがあります。

### 2 採否決定の通知

平成23年3月中旬頃

(通知の時期が前後する場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

### 3 配分経費決定の通知

平成23年6月中旬頃

(通知の時期が前後する場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

## VI 施設等の利用

### 1 案内

共同研究員（共同研究集会の参加者は除く。）は、研究遂行上必要な場合は、次のとおり研究所の施設等を利用することができます。利用に際しては、予算執行責任者もしくは企画グループ研究支援担当と連絡をとった上、研究所の諸規則を守り、利用する施設等の管理責任者の指示に従ってください。

### 2 電子計算機

電子計算機を利用する場合は、企画グループ研究支援担当で所定の手続きを行ってください。なお、共同利用で使用可能な計算機及び問い合わせ先については、以下の URL を参照してください。

URL : [http://www.ism.ac.jp/computer\\_system/index\\_j.html](http://www.ism.ac.jp/computer_system/index_j.html)

(統計数理研究所ホームページ→共同利用→計算機利用)

### 3 図書等

図書等を利用する場合は、図書事務室（1階 D110号室）で、所定の手続きを行ってください。なお、図書室の詳細については、以下の URL を参照してください。

URL : [http://www.ism.ac.jp/library/index\\_j.html](http://www.ism.ac.jp/library/index_j.html)

(統計数理研究所ホームページ→図書室)

### 4 入退室カード

研究所内関係施設は、入室管理が入退室カードによって行われていますので、利用者は企画グループ研究支援担当（2階 D201号室）でカードを借り受けてください。カード使用後は、企画グループ研究支援担当に返却してください。

## 5 Akaike Guest House

共同利用のために来所された研究者等の宿泊に供することを目的として、立川地区内に宿泊施設が設けてあります。詳細については、以下のURLをご覧ください。

URL : [http://www.ism.ac.jp/guest\\_house/index.html](http://www.ism.ac.jp/guest_house/index.html)

## 6 その他

### (1) 共同利用研究員室

共同利用研究員室（4階 D414号室）はスーパーコンピュータの端末として利用可能なパソコンを使用することができます。なお、同室使用の際には入退室カードが必要になりますので、企画グループ研究支援担当で借り受けてください。

### (2) 複写機

共同利用研究員室及び入出力室（D412号室、D512号室、A509号室、D612号室）で利用できます。

### (3) 談話休憩等

談話休憩等には、ラウンジ（3階～6階）をご利用ください。

### (4) 会議室等

共同研究集会の実施のため、会議室、セミナー室を利用することができます。利用を希望する場合は、予算執行責任者あるいは企画グループ研究支援担当へその旨ご連絡ください。なお、利用にあたっては、研究所の行事等が優先されます。

## VII 研究計画の変更等

研究計画の変更等の手続きについては、平成 23 年度中から、電子申請システム運用開始予定となります。

研究計画変更対応のシステム運用開始まで・・・紙媒体による手続き

研究計画変更対応のシステム運用開始から・・・電子申請システムにての手続きと、平成 23 年度中に手続き方法が変更となります。

以下、従来通りの紙媒体による変更手続方法を記載します。

※様式については、統計数理研究所共同利用のHPよりダウンロードしてください。

[http://www.ism.ac.jp/kyodo/index\\_j.html](http://www.ism.ac.jp/kyodo/index_j.html)

電子申請システムにて変更手続きが開始されましたら、電子申請システムログインページの「お知らせ」欄等にてお伝えする予定です。

### 1 研究組織の変更等

#### (1) 研究組織の変更

採択決定後、研究を遂行する上で、共同研究員もしくは研究所教員（以下「共同研究員等」という。）の追加を必要とする場合、又はやむを得ない事由（長期海外渡航、人事異動等）により、共同研究員等の辞退を申し出る場合など、研究組織の変更を必要とする場合は、速やかに「研究組織変更願」（様式B-3-1）を企画グループ研究支援担当あてに提出してください。

追加もしくは辞退する共同研究員等が複数人いる場合は、様式B-3-1にその旨記載し、「研究組織変更願（別紙）」（様式B-3-2）に対象となる共同研究員等を記入の上、提出してください。

なお、変更に伴う経費の増減はありませんので、ご承知おきください。

#### (2) 共同研究員等の異動の報告

共同研究員等に異動があった場合、「所属機関」・「所属部局」・「職名」に変更があった場合、又は所属機関・部局の異動に伴う「所在地」・「電話番号」・「ファックス」・「メールアドレス」・「URL」に変更が生じた場合は、速やかに「共同研究員等異動報告書」（様式B-4）を企画グループ研究支援担当あてに提出してください。

なお、研究代表者が所属機関を異動した場合は、様式B-4を提出するとともに、新しい所属機関の所属長の押印（公印に限る）がある「承諾書」（所属機関を異動した研究代表者用）（様式B-5）をあわせて提出してください。

### 2 研究代表者の変更

採択決定後、やむを得ない事由により研究代表者を変更する場合は、速やかに以下の手続きを

とってください。

(1) 変更前の研究代表者

「研究代表者変更願」(様式B-6)に必要な事項を記入のうえ、所属長の押印(公印に限る)がある「研究代表者変更承諾書」(変更前の研究代表者用)(様式B-7)とあわせて企画グループ研究支援担当あてに提出してください。

(2) 変更後の研究代表者

所属長の押印(公印に限る)がある「研究代表者変更承諾書」(変更後の研究代表者用)(様式B-8)を企画グループ研究支援担当あてに提出してください。

(3) 留意事項

変更後に研究代表者となる者は、当該研究課題の参加者として登録されている者のうち、研究代表者の資格がある者に限ります。

## VIII 成果の公表

以下は「Appendix A 公募型共同利用電子申請システム操作説明」内の、(P. 83)「3 課題実施報告」に関する注意事項となります。

### 1 実施報告書

各研究代表者は、以下の「研究課題実施報告画面一覧」に基づき、平成24年4月20日(金)(締切厳守)までに該当する画面から実施報告内容を入力してください。「公募型共同利用アンケート」の入力は任意です。

期日までに提出されない場合は記録に留め、翌年度以降の審査に反映させ、かつ、配分された研究費等の返還を求める場合があります。

提出された各実施報告書は、とりまとめの上、「公募型共同利用実施報告書」として作成・印刷する予定です。作成後、各研究代表者に配布します。

なお、(P. 37)「3 情報公開」に記述されている方法で、実施報告書の内容を公開する予定です。

また、研究所の広報資料等に使用するために、提出された報告書の内容を、研究所の年報等の刊行物に掲載することがありますので、ご承知おきください

#### 【研究課題実施報告画面一覧】

研究形態		研究課題実施報告画面	操作説明
共同利用登録		共同利用登録実施報告	P 8 5
		公募型共同利用来所日数調査	P 8 8
		公募型共同利用アンケート	P 8 9
共同利用研究	一般研究 1	一般研究 1 実施報告	P 8 5
		公募型共同利用来所日数調査	P 8 8
		公募型共同利用アンケート	P 8 9
	一般研究 2	一般研究 2 実施報告	P 8 6
		公募型共同利用来所日数調査	P 8 8
		公募型共同利用アンケート	P 8 9
	若手短期集中型研究	若手短期集中型研究実施報告	P 8 6
		公募型共同利用来所日数調査	P 8 8
		公募型共同利用アンケート	P 8 9
重点型研究	重点型研究実施報告	P 8 7	
	公募型共同利用来所日数調査	P 8 8	
	公募型共同利用アンケート	P 8 9	
共同研究集会	共同研究集会実施報告	P 8 7	
	公募型共同利用来所日数調査	P 8 8	
	公募型共同利用アンケート	P 8 9	

## 2 来所日数調査

研究実施期間における共同研究員の研究所への来所日数を調査しています。

各研究課題において、研究代表者が共同研究員の来所日数を調査し、平成24年4月20日（金）（締切厳守）までに実施報告の電子入力とあわせて、来所日数調査画面から入力を行ってください。

## 3 情報公開

共同利用登録を認められた研究者名、研究課題名、採択された共同利用研究、共同研究集会の研究代表者名、参加者名、研究課題名等、実施報告書の内容などを研究所のデータベースに収録し、公開（インターネットなどの計算機ネットワークを通じた公開やフロッピーディスクやCD-ROM等の電磁的、光学的記録媒体での配布などを含む。）しますので、ご了承ください。

さらに、学術雑誌などに発表された共同利用に関係した成果も研究所のデータベースに収録し、研究所内外からの閲覧を容易にすることで、研究所の活性化を図ることを計画していますので、研究成果の登録にご協力ください。

## 4 研究成果の取扱い

公募型共同利用の実施に伴い生じた知的財産権については、原則として共有とし、貢献度に応じて持分を決めます。特許等の出願（外国に対する出願を含む。）における詳細は、共同出願契約等にて取決めを行います。

## 5 研究成果の発表

- (1) 共同利用の成果を口頭または論文として発表するときは、共同利用終了後の経過年数にかかわらず、研究所における公募型共同利用に基づくものであることを次の記載例のように明示していただくとともに、当該論文等の別刷1部を、企画グループ研究支援担当あてに送付してください。なお、「3 情報公開」に示している方法で研究成果を公開いたします。

例：和文の場合 統計数理研究所共同研究プログラム（23-共研-\_\_\_\_\_）

英文の場合 This study was carried out under the ISM Cooperative Research Program（2011-ISM・CRP・\_\_\_\_\_）

（注）\_\_\_\_\_の部分には課題番号を記入してください。

※英語表記は以下のとおりとします。

日本語	英語
統計数理研究所共同利用	ISM Cooperative Research Program
共同利用登録	Cooperative Use Registration
共同利用研究	Cooperative Research
一般研究 1	General Cooperative Research 1
一般研究 2	General Cooperative Research 2
若手短期集中型研究	Short Term Intensive Research for Young Researchers
重点型研究	Specially Promoted Research
共同研究集会	Cooperative Research Symposium
共同研究レポート	Cooperative Research Report

(2) 研究所が編集する学術雑誌として「Annals of the Institute of Statistical Mathematics」(英文誌、Springer 発行、年 6 回) 及び「統計数理」(和文誌、研究所発行、年 2 回) があります。これらの雑誌で共同利用の成果を特集として公開することを共同利用委員会が企画することもあります。

「統計数理」に研究会報告を投稿される場合は、研究会終了後 3 ヶ月以内に、原稿を「統計数理編集委員会」あてに提出してください。3 ヶ月を過ぎた場合、受け付けられないこともあります。なお、投稿についての詳細は下記をご参照ください。

#### Annals of the Institute of Statistical Mathematics

- The Aims and Scope

<http://www.ism.ac.jp/editsec/aism/scope-j.html>

- Information for Authors

<http://www.ism.ac.jp/editsec/aism/info-author-j.html>

「統計数理」投稿規定、執筆要項

<http://www.ism.ac.jp/editsec/toukei/toukukitei.html>

(3) 統計数理研究所ニュース、年報、Activity Report などの広報誌で、共同利用の成果や関連情報の広報などを行っていきますので、ご協力ください。

## 6 秘密保持義務

公募型共同利用の実施に伴い生じた研究成果及び研究所から開示を受け又は知り得た情報については、既に自己が保有していた又は既に公知となった情報、開示を受け又は知得した後に自己の責めによらず公知となった情報、研究所から同意を得た場合を除き、公募型共同利用実施終了後 2 年間秘密を保持しなければなりません。



## IX 参考資料

**別表 1 旅費早見表**

この早見表は、多摩モノレール高松駅と各県庁所在地都市（県庁所在地に国立大学がない場合は、国立大学の所在都市又は国立大学の所在地から最も近い都市）との間の鉄道、航空、バス等の概算運賃（往復）を掲載したものです。割引料金、時期的なことによる運賃の変動がありますので、予めご了承ください。

（単位：円）

	鉄道		航空運賃	車賃	合計金額	備考
	運賃	特急料金				
札幌	4,600		43,600		48,200	
釧路	2,520		70,200	1,820	74,540	
帯広	9,100	5,220	43,600		57,920	
弘前	2,520		60,400	2,000	64,920	
秋田	19,940	13,820			34,440	
盛岡	17,220	10,900			28,520	
仙台	12,380	9,220			22,000	
山形	12,800	9,820			23,300	
福島	10,080	7,760			18,240	
水戸	5,240	3,220			8,860	
宇都宮	4,620	5,420			10,440	
前橋	4,620	5,420			10,440	高崎乗換
さいたま	1,280				1,280	南与野
千葉	2,620				2,620	西千葉
つくば	3,580				3,580	
横浜	1,760				1,760	
新潟	11,760	9,220			21,380	
富山	14,280	9,140			24,020	越後湯沢乗換
金沢	15,760	9,680			26,040	越後湯沢乗換
福井	17,640	9,440			29,140	米原乗換
甲府	3,440				3,440	
静岡	7,340	5,840			13,180	
浜松	10,080	7,320			17,600	

	鉄道		航空運賃	車賃	合計金額	備考
	運賃	特急料金				
松本	6,720	4,820			11,940	
岐阜	13,860	8,580			22,840	名古屋乗換
豊橋	11,120	7,120			18,640	
岡崎	11,760	7,120			19,280	
名古屋	12,800	8,580			21,780	
津	15,460	8,580			24,440	名古屋乗換
彦根	15,540	9,440			25,380	米原乗換
京都	17,220	10,080			27,700	
大阪	18,260	10,080			28,740	新大阪
神戸	1,890	10,080			12,370	新神戸
奈良	18,260	10,080			28,740	京都乗換
和歌山	19,320	10,080			29,800	新大阪乗換
鳥取	2,520		60,000	900	63,420	
松江	2,520		63,000	2,000	67,520	
岡山	21,200	12,340			33,540	
広島	23,520	13,420			36,940	
山口	25,400	15,520			40,920	新山口
	2,520		69,400	1,740	73,660	
徳島	2,520		59,200	860	62,580	
高松	2,520		59,200	1,480	63,200	
	22,220	12340			34,560	岡山乗換
松山	2,520		64,000	600	67,120	
高知	2,520		63,000	1,400	66,920	
福岡	2,520		43,600		46,120	
佐賀	5,180		42,160		47,340	福岡空港経由
長崎	2,520		63,200	1,600	67,320	
熊本	2,520		57,200	1,340	61,060	
大分	2,520		71,400	2,500	76,420	
宮崎	2,520		57,200		59,720	
鹿児島	2,520		63,200	2,400	68,120	
那覇	2,520		49,600		52,120	

**別表2 共同研究レポート一覧**

登録番号	課題番号	題名	研究代表者・所属
No. 1	— 共 — 9	複雑な構造をもつ統計モデルにおけるデータ縮約問題	久保木 久孝 ・ 統計数理研究所
No. 2	— 共 — 34	数理地震学 地震学における統計数理モデル研究会	斎藤 正徳 ・ 東京工業大学
No. 3	61 — 共研 — 39	数理地震学 (II) フラクタルと破壊現象の数理	斎藤 正徳 ・ 東京工業大学
No. 4	61 — 共会 — 14	グラフ理論の数値計算への応用	伊理 正夫 ・ 東京大学
No. 5	61 — 共研 — 11	線型計画問題の新解法	刀根 薫 ・ 埼玉大学
No. 6	62 — 共会 — 48	確率過程論の工学・生物学への応用	小倉 久直 ・ 京都工芸繊維大学
No. 7	61 — 共会 — 46	前兆異常検出の統計的手法	尾池 和夫 ・ 京都大学防災研究所
No. 8	62 — 共会 — 60	数理地震学 (III) フラクタルと地震現象の数理	斎藤 正徳 ・ 東京工業大学
No. 9	62 — 共研 — 55	全マントルP波トモグラフィー 地球物理学データのインバージョン	深尾 良夫 ・ 名古屋大学
No. 10	62 — 共研 — 18	線型計画問題の新解法2	刀根 薫 ・ 埼玉大学
No. 11	62 — 共研 — 90	パレート・ジーニをめぐる統計的諸問題	田口 時夫 ・ 統計数理研究所
	63 — 共研 — 88	二次元集中度に関する若干の計算	
No. 12	63 — 共会 — 52	工学・生物学における不規則変動現象の数理的解析	佐藤 俊輔 ・ 大阪大学
No. 13	61 — 共研 — 22	統計環境に関する住民意識調査I・報告集	田口 時夫 ・ 統計数理研究所
No. 14	62 — 共研 — 31	統計環境に関する住民意識調査II・資料集	田口 時夫 ・ 統計数理研究所
No. 15	62 — 共研 — 31	統計環境に関する住民意識調査III・自由回答の分析と結果の利用	田口 時夫 ・ 統計数理研究所
No. 16	63 — 共研 — 100	自然環境についての標本調査法の研究	多賀 保志 ・ 横浜市立大学
No. 17	63 — 共研 — 78	歯科疾患実態調査データのコホート分析	中村 隆 ・ 統計数理研究所
No. 18	63 — 共研 — 99	多重比較方式の諸問題	吉村 功 ・ 名古屋大学
No. 19	63 — 共研 — 15	線型計画問題の新解法3	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 20	1 — 共会 — 50	工学・生物学における不規則現象解析の諸問題	吉川 昭 ・ 東邦大学
No. 21	1 — 共会 — 19	非正常又は非線形な時系列の推測に関する研究	藤井 光昭 ・ 東京工業大学
No. 22	1 — 共会 — 102	毒性・薬効データ解析における多重比較法の利用	吉村 功 ・ 名古屋大学
No. 23	1 — 共研 — 101	自然環境についての標本調査法の研究 (II)	多賀 保志 ・ 日本鯨類研究所
No. 24	1 — 共研 — 64	Mathematical Seismology (V) : Fracture, Form and Fractals	斎藤 正徳 ・ 東京工業大学
No. 25	1 — 共研 — 28	日本に於る統計学研究の研究環境に関する調査研究	鈴木 義一郎 ・ 統計数理研究所
No. 26	2 — 共会 — 26	時系列解析の研究	岡本 雅典 ・ 広島大学
No. 27	2 — 共会 — 97	リスク評価のための毒性・薬効データ解析法の研究	吉村 功 ・ 名古屋大学
No. 28	2 — 共会 — 56	数理地震学 (VI)	斎藤 正徳 ・ 東京工業大学
No. 29	1 — 共研 — 16	非線形最適化：モデルとアルゴリズム1	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 30	2 — 共研 — 10	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武 ・ 早稲田大学
No. 31	3 — 共会 — 3	時系列に関する推測の理論とその応用	藤井 光昭 ・ 東京工業大学
No. 32	3 — 共会 — 7	工学・生物学における不規則現象とその情報処理	太田 光雄 ・ 近畿大学
No. 33	3 — 共会 — 10	考古学における計量分析	堅田 直 ・ 帝塚山大学
No. 34	3 — 共会 — 8	数理地震学 (VII)	斎藤 正徳 ・ 東京工業大学
No. 35	2 — 共研 — 15	最適化：モデルとアルゴリズム2	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 36	3 — 共研 — 1	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武 ・ 早稲田大学
No. 37	3 — 共会 — 6	球面上の形態形成と情報処理	小川 泰 ・ 筑波大学
No. 38	4 — 共会 — 8	考古学における計量分析II	堅田 直 ・ 帝塚山大学
No. 39	4 — 共会 — 2	時系列に関する推測の理論と応用	酒井 英昭 ・ 京都大学
No. 40	4 — 共会 — 6	工学・生物学における不規則現象のモデル化とその解析処理方法	八名 和夫 ・ 法政大学
No. 41	4 — 共研 — 94	日本人の意識調査のコホート分析	中村 隆 ・ 統計数理研究所
No. 42	4 — 共研 — 8	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武 ・ 早稲田大学
No. 43	4 — 共研 — 6	確率過程の大域的性質の研究	大倉 弘之 ・ 京都工芸繊維大学
No. 44	4 — 共研 — 14	安定分布・安定過程およびその周辺の研究	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 45	3 — 共会 — 2	最適化：モデリングとアルゴリズム3	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 46	5 — 共会 — 11	考古学における計量分析III	堅田 直 ・ 帝塚山大学
No. 47	5 — 共会 — 3	時系列解析の理論と応用	中野 純司 ・ 一橋大学
No. 48	5 — 共会 — 7	確率モデルと非線形可積分系	中村 佳正 ・ 同志社大学
No. 49	5 — 共会 — 6	工学・理学に関する不規則現象の解析—理論と応用—	杉山 宏 ・ 湘南工科大学
No. 50	5 — 共研A — 49	結晶の対称性の統計的分布	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 51	5 — 共研A — 11	加法過程に関する諸問題	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 52	5 — 共会 — 9	地震と不均質媒質の変形破壊現象にみる非線形過程のモデル化とその数理	大内 徹 ・ 神戸大学
No. 53	4 — 共会 — 1	最適化：モデリングとアルゴリズム4	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 54	4 — 共研 — 19	データ解析の電子ジャーナル (E J D A)	柴田 里程 ・ 慶應義塾大学
No. 55	5 — 共会 — 1	MHD数理モデルによる核融合計算と最適設計	牛島 照夫 ・ 電気通信大学
No. 56	5 — 共研 — 3	確率過程の大域的性質の研究	大倉 弘之 ・ 京都工芸繊維大学
No. 57	5 — 共研A — 10	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武 ・ 早稲田大学
No. 58	4 — 共研 — 11	無限次元空間上の統計学の研究	吉田 朋広 ・ 統計数理研究所
No. 59	5 — 共研A — 30	非線形現象のシステム設計と予測解析の確率過程論研究	岡部 靖憲 ・ 北海道大学

登録番号	課題番号	題名	研究代表者・所属
No. 60	5 - 共研A - 2	拡張された非平衡熱力学とOnsager-Machlup関数	北原 和夫 ・ 東京工業大学
No. 61	5 - 共会 - 2	最適化：モデリングとアルゴリズム 5	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 62	6 - 共会 - 13	考古学における計量分析IV	堅田 直 ・ 帝塚山大学
No. 63	6 - 共会 - 5	時系列解析の理論と応用	谷口 正信 ・ 大阪大学
No. 64	6 - 共会 - 6	理工学分野の不規則現象の解析－理論と応用－	大松 繁 ・ 徳島大学
No. 65	5 - 共研C - 2	遺伝子構造データ解析のための統計的方法の開発	長谷川 政美 ・ 統計数理研究所
No. 66	6 - 共研A - 46	結晶の種の定義と対称性の統計的分布	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 67	6 - 共研A - 57	生物分類への統計的アプローチ	小野山 敬一 ・ 帯広畜産大学
No. 68	6 - 共会 - 7	逆問題とその周辺	岸田 邦治 ・ 岐阜大学
No. 69	6 - 共会 - 11	強結合系に於ける時空相関パターンと計算機シミュレーション	宗像 豊哲 ・ 京都大学
No. 70	6 - 共研A - 98	言語の文法構造のデータの統計解析	上田 澄江 ・ 統計数理研究所
No. 71	6 - 共研A - 13	推定論とその応用の研究	山田 作太郎 ・ 東京水産大学
No. 72	6 - 共会 - 2	MHD数値モデルによる核融合計算と最適設計	牛島 照夫 ・ 電気通信大学
No. 73	5 - 共会 - 2	最適化：モデリングとアルゴリズム 6	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 74	5 - 共研C - 1	電波干渉計データに基づく統計的画像形成処理	石黒 真木夫 ・ 統計数理研究所
No. 75	6 - 共研A - 8	加法過程に関連する諸問題（2）	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 76	6 - 共会 - 8	数理生理学における決定論・確率モデルの基本理論的研究	三村 昌康 ・ 東京大学
No. 77	6 - 共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 7	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 78	7 - 共会 - 10	考古学における計量分析V	堅田 直 ・ 帝塚山大学
No. 79	7 - 共会 - 4	時系列解析の理論と応用	近藤 正男 ・ 鹿児島大学
No. 80	7 - 共会 - 6	理工学における不規則現象の解析手法とその応用	酒井 英昭 ・ 京都大学
No. 81	7 - 共会 - 5	逆問題とその周辺（2）	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 82	7 - 共研A - 17	推定論とその応用の研究（2）	山田 作太郎 ・ 東京水産大学
No. 83	7 - 共研A - 36	無機結晶データベース(I C S D)を用いた結晶群の出現頻度（III）	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 84	6 - 共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 8	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 85	7 - 共会 - 2	MHD数値モデルによる核融合計算と最適設計	牛島 照夫 ・ 電気通信大学
No. 86	7 - 共研A - 11	多変量質的データの構造解析に関する研究	柳井 晴夫 ・ 大学入試センター
No. 87	7 - 共研A - 104	リモートセンシングデータに基づく半乾燥地帯の統計的分析法	星 仰 ・ 茨城大学
No. 88	7 - 共研A - 1	加法過程の諸問題（3）	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 89	8 - 共研B - 2	中心化ニュートン法と最適化の微分幾何	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 90	8 - 共会 - 4	時系列解析の理論と応用	細谷 雄三 ・ 東北大学
No. 91	8 - 共会 - 5	不規則変動現象の数理的解析手法とその理工学への応用	山本 光璋 ・ 東北大学
No. 92	7 - 共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 9	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 93	8 - 共研A - 9	推定論とその応用の研究（3）	山田 作太郎 ・ 東京水産大学
No. 94	8 - 共会 - 6	逆問題とその周辺（3）	岸田 邦治 ・ 岐阜大学
No. 95	7 - 共研A - 6	主成分分析におけるノンパラメトリック検定法の研究	牛沢 賢二 ・ 産能大学
No. 96	8 - 共研A - 12	インターネットによる統計に関する情報提供システムに関する研究	藤井 光昭 ・ 大学入試センター
No. 97	7 - 共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 10	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 98	8 - 共研A - 47	結晶群の出現頻度とランダムウォーク	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 99	8 - 共研B - 7	大気拡散の確率数値解析的研究	小川 重義 ・ 京都工芸繊維大学
No. 100	8 - 共研A - 13	多変量質的データの構造解析に関する研究（II）	柳井 晴夫 ・ 大学入試センター
No. 101	8 - 共研A - 55	統計物理と統計学の境界領域の研究	伊庭 幸人 ・ 統計数理研究所
No. 102	8 - 共研A - 3	無限分解可能過程に関連する諸問題	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 103	9 - 共会 - 6	時系列解析の理論と応用	細谷 雄三 ・ 東北大学
No. 104	8 - 共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 11	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 105	8 - 共会 - 2	核融合研究における数値解析手法と最適化	加古 孝 ・ 電気通信大学
No. 106	9 - 共会 - 9	理工学・医学における不規則変動現象のモデル化とその応用	木竜 徹 ・ 新潟大学
No. 107	9 - 共研A - 3	統計解析理論とその応用の研究	久保木 久孝 ・ 電気通信大学
No. 108	9 - 共会 - 8	逆問題とその周辺（4）	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 109	9 - 共研A - 5	無限分解可能過程に関連する諸問題（2）	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 110	9 - 共会 - 5	核融合研究における数値解析手法と最適化	加古 孝 ・ 電気通信大学
No. 111	9 - 共研A - 15	確率過程の漸近分布論の研究	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 112	10 - 共研A - 15	無限分解可能過程に関連する諸問題（3）	渡部 俊朗 ・ 会津大学
No. 113	9 - 共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 12	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 114	10 - 共会 - 9	理工学分野での不規則現象の数理的解析－理論と応用	養 弘幸 ・ 東邦大学
No. 115	10 - 共会 - 7	時系列・時空間事象の統計的解析	間瀬 茂 ・ 東京工業大学
No. 116	8 - 共研A - 44	ジーニ統計学とその展開	田中 力 ・ 立命館大学
No. 117	9 - 共研A - 47	ジーニ統計学とその展開	
No. 117	10 - 共会 - 3	離散幾何と統計数理	前原 潤 ・ 琉球大学
No. 118	10 - 共会 - 5	ノンパラメトリック確率密度関数の推定法とその周辺	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 119	10 - 共会 - 10	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 120	10 - 共研A - 13	確率論における極限定理に関する研究	濱名 裕治 ・ 九州大学
No. 121	10 - 共研A - 5	統計解析理論とその応用の研究（2）	久保木 久孝 ・ 電気通信大学

登録番号	課題番号	題名	研究代表者・所属
No. 122	10 - 共研 - 8	逆問題とその周辺 (5)	渡辺 澄夫 ・ 東京工業大学
No. 123	11 - 共研 - 2037	工学・理学における不規則変動現象の数理的解析－理論と応用	戸田 尚宏 ・ 愛知県立大学
No. 124	11 - 共研 - 2029	時系列・時空間事象の統計的解析	間瀬 茂 ・ 東京工業大学
No. 125	10 - 共会 - 4	最適化：モデリングとアルゴリズム 1 3	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 126	11 - 共研 - 2044	長期療養時代の保健医療福祉システムの検討 (1)	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 127	11 - 共研 - 2004	無限分解可能過程に関連する諸問題 (4)	渡部 俊朗 ・ 会津大学
No. 128	11 - 共研 - 2035	逆問題とその周辺 (6)	鷲尾 隆 ・ 大阪大学
No. 129	11 - 共研 - 2038	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 130	11 - 共研 - 2003	統計解析理論とその応用の研究 (3)	久保木 久孝 ・ 電気通信大学
No. 131	11 - 共研 - 2005	計算機科学に現れる確率の問題研究	杉田 洋 ・ 九州大学
No. 132	11 - 共研 - 2008	統計数理とデータマイニング・発見科学	今井 浩 ・ 東京大学
No. 133	11 - 共研 - 3001	大規模情報通信ネットワークの性能評価	町原 文明 ・ 東京電機大学
No. 134	11 - 共研 - 1025	ノンパラメトリック・ファンクショナル推定の理論と応用	小暮 厚之 ・ 千葉大学
No. 135	11 - 共研 - 2024	最適化：モデリングとアルゴリズム 1 4	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 136	12 - 共研 - 4006	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 137	12 - 共研 - 4008	無限分解可能過程に関連する諸問題 (5)	井上 和行 ・ 信州大学
No. 138	12 - 共研 - 4010	逆問題とその周辺	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 139	12 - 共研 - 2028	長期療養時代の保健医療福祉システムの検討	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 140	12 - 共研 - 4005	自然科学における不規則現象の数理モデルによる解析	坂口 文則 ・ 福井大学
No. 141	12 - 共研 - 2051	環境動態解析に於ける統計的認識方法の開発およびその実証的研究	岩瀬 晃盛 ・ 広島大学
No. 142	12 - 共研 - 4001	統計数理とデータマイニング・発見科学	今井 浩 ・ 東京大学
No. 143	12 - 共研 - 4002	ノンパラメトリック統計モデルの推定法と平滑化法	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 144	13 - 共研 - 4004	動的システムにおける情報・計算・ゲームの様相	泰地 真弘人 ・ 統計数理研究所
No. 145	13 - 共研 - 1021	生物の初期進化の解明：研究の現状とデータの問題点	橋本 哲男 ・ 統計数理研究所
No. 146	13 - 共研 - 2024	無限分解可能過程に関連する諸問題 (6)	井上 和行 ・ 信州大学
No. 147	13 - 共研 - 2029	女性の自立意識の分析－郵送調査とWeb調査による比較分析と調査法の検討－	高倉 節子 ・ 長崎純心大学
No. 148	12 - 共研 - 4003	最適化：モデリングとアルゴリズム 1 5	田邊 國士 ・ 統計数理研究所
No. 149	13 - 共研 - 4007	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 150	13 - 共研 - 4006	理・工・医学における揺らぎ現象のモデル化と人間情報処理	畠山 一達 ・ 近畿大学
No. 151	13 - 共研 - 4005	逆問題とその周辺 (7)	岸田 邦治 ・ 岐阜大学
No. 152	13 - 共研 - 1017	音声・テキストメディアの符号化ビットストリーム解析による符号化性能の評価	大関 和夫 ・ 芝浦工業大学
No. 153	13 - 共研 - 2048	長期療養時代の保健医療福祉システムの検討	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 154	13 - 共研 - 2060	ブナ林の遺伝構造とその解析のための空間統計学	島谷 健一郎 ・ 統計数理研究所
No. 155	13 - 共研 - 2020	集約型データのノンパラメトリック推定法	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 156	14 - 共研 - 2027	結晶群の出現頻度の統計的解析	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 157	14 - 共研 - 2003	無限分解可能過程に関連する諸問題 (7)	石川 保志 ・ 愛媛大学
No. 158	14 - 共研 - 4007	21世紀の診断工学とその周辺	岩木 直 ・ 産業技術総合研究所
No. 159	14 - 共研 - 2048	21世紀型保健医療指標の開発 (1)	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 160	14 - 共研 - 2056	スポーツ・レクリエーション参加の cohorts 分析	中村 隆 ・ 統計数理研究所
No. 161	13 - 共研 - 4003	最適化：モデリングとアルゴリズム 1 6	田邊 國士 ・ 統計数理研究所
No. 162	14 - 共研 - 2055	英語コーパスにおける文章難易度の測定について－応用言語学視点を用いて－	高橋 薫 ・ 豊田工業高等専門学校
No. 163	14 - 共研 - 4003	動的システムの情報論 2	佐藤 譲 ・ 理化学研究所
No. 164	14 - 共研 - 2021	ノンパラメトリック統計モデルと平滑化	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 165	15 - 共研 - 1018	経済成長率に対する教育投資効果の統計的解析	川崎 能典 ・ 統計数理研究所
No. 166	15 - 共研 - 2037	21世紀型保健医療指標の開発 (2)	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 167	15 - 共研 - 4004	21世紀の診断工学とその周辺 (2)	伊良皆 啓治 ・ 東京大学
No. 168	14 - 共研 - 4002	最適化：モデリングとアルゴリズム 1 7	田邊 國士 ・ 統計数理研究所
No. 169	15 - 共研 - 4001	極値理論の工学への応用	高橋 倫也 ・ 神戸商船大学
No. 170	15 - 共研 - 2002	無限分解可能過程に関連する諸問題 (8)	石川 保志 ・ 愛媛大学
No. 171	14 - 共研 - 4003	動的システムの情報論 3	佐藤 譲 ・ 理化学研究所
No. 172	16 - 共研 - 4004	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 173	16 - 共研 - 4006	21世紀の診断工学とその周辺 (3)	眞溪 歩 ・ 東京大学
No. 174	16 - 共研 - 4002	極値理論の工学への応用 (2)	高橋 倫也 ・ 神戸大学
No. 175	16 - 共研 - 4001	無限分解可能過程に関する諸問題 (9)	平場 誠示 ・ 東京理科大学
No. 176	16 - 共研 - 2041	21世紀型保健医療指標の開発 (3)	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 177	16 - 共研 - 1007	新分野開拓／経済物理とその周辺	田中 美栄子 ・ 鳥取大学
No. 178	15 - 共研 - 4002	最適化：モデリングとアルゴリズム 1 8	土谷 隆 ・ 統計数理研究所
No. 179	16 - 共研 - 2017	局所モーメント法に関する研究	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 180	16 - 共研 - 2008	独立成分分析に関する理論とその応用	南 美穂子 ・ 統計数理研究所
No. 181	16 - 共研 - 4004	動的システムの情報論 4	藤本 仰一 ・ 東京大学
No. 182	17 - 共研 - 4009	統計サマーセミナー	二宮 嘉行 ・ 九州大学
No. 183	17 - 共研 - 4002	極値理論の工学への応用 (3)	高橋 倫也 ・ 神戸大学
No. 184	17 - 共研 - 4001	無限分解可能過程に関連する諸問題 (10)	平場 誠示 ・ 東京理科大学

登録番号	課題番号	題名	研究代表者・所属
No. 185	17 - 共研 - 2049	病棟業務量調査に基づく医療需給バランスおよび病棟設計に関する研究	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 186	17 - 共研 - 4006	21世紀の診断工学とその周辺(4)	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 187	17 - 共研 - 4005	経済物理学とその周辺(2)	田中 美栄子 ・ 鳥取大学
No. 188	17 - 共研 - 2036	形態形成育種形質の評価における簡便な光計測による計測と解析	平田 豊 ・ 東京農工大学
No. 189	17 - 共研 - 1022	座り心地に関する統計学的研究	三家 礼子 ・ 早稲田大学
No. 190	17 - 共研 - 2058	言語コーパス解析における共起語検出のための統計手法の比較研究	石川 慎一郎 ・ 神戸大学
No. 191	16 - 共研 - 4003	最適化:モデリングとアルゴリズム19	土谷 隆 ・ 統計数理研究所
No. 192	17 - 共研 - 4003	動的システムの情報論5	藤本 仰一 ・ 東京大学
No. 193	18 - 共研 - 2034	クローン植物における繁殖特性と遺伝構造の空間解析	大原 雅 ・ 北海道大学
No. 194	18 - 共研 - 4002	極値理論の工学への応用(4)	高橋 倫也 ・ 神戸大学
No. 195	18 - 共研 - 4001	無限分解可能過程に関連する諸問題(11)	山室 考司 ・ 岐阜大学
No. 196	18 - 共研 - 4007	環境データ解析の方法と実際	柏木 宣久 ・ 統計数理研究所
No. 197	18 - 共研 - 4006	21世紀の診断工学とその周辺(5)	岩木 直 ・ 産業技術総合研究所
No. 198	18 - 共研 - 4005	経済物理学とその周辺(3)	田中 美栄子 ・ 鳥取大学
No. 199	18 - 共研 - 5004	日本語の基本語抽出における統計手法の研究	石川 慎一郎 ・ 神戸大学
No. 200	18 - 共研 - 2052	レベル別ESPコーパスの特徴語を確定する統計手法	小山 由紀江 ・ 名古屋工業大学
No. 201	18 - 共研 - 2051	多変量解析と用いたテキスト分析研究	田畑 智司 ・ 大阪大学
No. 202	18 - 共研 - 2036	医療サプライチェーンとしての病棟経営評価法について	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 203	17 - 共研 - 4004	最適化:モデリングとアルゴリズム20	土谷 隆 ・ 統計数理研究所
No. 204	18 - 共研 - 6001	マシソン・ラーニングによる生存時間解析	辻谷 将明 ・ 大阪電気通信大学
No. 205	18 - 共研 - 4004	動的システムの情報論6	藤本 仰一 ・ 東京大学
No. 206	19 - 共研 - 5006	環境データ解析の方法と実際	柏木 宣久 ・ 統計数理研究所
No. 207	19 - 共研 - 2029	医療サプライチェーンとしての病棟経営評価法について(2)	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 208	19 - 共研 - 5001	21世紀の診断工学とその周辺(6)	兼本 茂 ・ 会津大学
No. 209	19 - 共研 - 5005	経済物理学とその周辺(4)	田中 美栄子 ・ 鳥取大学
No. 210	19 - 共研 - 4205	乱数の応用指向特性評価とその周辺	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 211	19 - 共研 - 5002	地震活動のモデルと予測に関する研究	井元 政二郎 ・ 防災科学技術研究所
No. 212	19 - 共研 - 5009	極値理論の工学への応用(5)	高橋 倫也 ・ 神戸大学
No. 213	19 - 共研 - 5008	無限分解可能過程に関連する諸問題(12)	山室 考司 ・ 岐阜大学
No. 214	19 - 共研 - 2024	現代アメリカ英語知識人話者のスピーチスタイルと語学的特徴についての研究	家入 葉子 ・ 京都大学
No. 215	19 - 共研 - 3007	学習者コーパスの解析に基づく客観的作文評価指標の検討	石川 慎一郎 ・ 神戸大学
No. 216	19 - 共研 - 2051	ESPコーパスの統計分析と教育への応用	小山 由紀江 ・ 名古屋工業大学
No. 217	19 - 共研 - 5003	動的システムの情報論7	高木 拓明 ・ 奈良県立医科大学
No. 218	19 - 共研 - 1014	座り心地に関する統計学的研究3	三家 礼子 ・ 早稲田大学
No. 219	19 - 共研 - 2024	多年生林床草本の空間的個体群動態解析	島谷 健一郎 ・ 統計数理研究所
No. 220	19 - 共研 - 3006	法規範と行動規範の乖離に関する調査と解析方法のメタ分析	片野 洋平 ・ 上智大学
No. 221	18 - 共研 - 4003	最適化:モデリングとアルゴリズム21	土谷 隆 ・ 統計数理研究所
No. 222	20 - 共研 - 5008	統計サマーセミナー	森本 孝之 ・ 統計数理研究所
No. 223	20 - 共研 - 5003	動的システムの情報論(8)	杉田 祐也 ・ 理化学研究所
No. 224	20 - 共研 - 5006	極値理論の工学への応用(6)	高橋 倫也 ・ 神戸大学
No. 225	20 - 共研 - 5005	無限分解可能過程に関連する諸問題(13)	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 226	20 - 共研 - 5004	経済物理学とその周辺	田中 美栄子 ・ 鳥取大学
No. 227	20 - 共研 - 5001	逆問題とその応用	岸田 邦治 ・ 岐阜大学
No. 228	20 - 共研 - 3002	時系列解析による船舶の復原力変動の推定	寺田 大介 ・ 広島商船高等専門学校
No. 229	20 - 共研 - 5007	最適化:モデリングとアルゴリズム	土谷 隆 ・ 統計数理研究所
No. 230	20 - 共研 - 5009	統計教育の方法論に関する研究~ガイドラインと評価の枠組み	渡辺 美智子 ・ 東洋大学
No. 231	20 - 共研 - 2028	多変量アプローチによるテキストの計量研究	田畑 智司 ・ 大阪大学
No. 232	20 - 共研 - 2027	コーパス言語研究における量的データ処理のための統計手法の概観	石川 慎一郎 ・ 神戸大学
No. 233	20 - 共研 - 2025	コーパスに基づく言語テストの妥当性と統計手法	小山 由紀江 ・ 名古屋工業大学
No. 234	20 - 共研 - 2019	疾病登録の悉皆性に関する研究	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 235	21 - 共研 - 2043	新しい非再帰型疑似乱数生成法とその応用	谷口 礼偉 ・ 三重大学
No. 236	21 - 共研 - 2032	小学校の英語学習に対する動機づけに関する調査分析	カレイラ松崎順子 ・ 東京未来大学
No. 237	21 - 共研 - 4308	裁判員裁判における言語使用に関する統計を用いた研究	堀田 秀吾 ・ 明治大学
No. 238	21 - 共研 - 4306	言語コーパス分析における数値データの統計的処理手法の検討	石川 慎一郎 ・ 神戸大学
No. 239	21 - 共研 - 4303	ESPコーパスからの特徴表現の抽出	小山 由紀江 ・ 名古屋工業大学
No. 240	21 - 共研 - 5001	医学・工学における逆問題とその周辺	堀畑 聡 ・ 日本大学
No. 241	21 - 共研 - 5004	経済物理学とその周辺(6)	田中 美栄子 ・ 鳥取大学
No. 242	21 - 共研 - 5011	医用診断のための応用統計数理の新展開	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 243	21 - 共研 - 4209	統計教育の新展開に関する研究のとりまとめと研究集会の開催	渡辺 美智子 ・ 東洋大学
No. 244	21 - 共研 - 4305	論述式試験の採点デザインと信頼性評価に関する統計的研究	柴山 直 ・ 東北大学
No. 245	21 - 共研 - 4307	多変量アプローチによるテキストの計量研究	田畑 智司 ・ 大阪大学
No. 246	21 - 共研 - 5007	極値理論の工学への応用	高橋 倫也 ・ 神戸大学
No. 247	21 - 共研 - 5006	無限分解可能過程に関連する諸問題(14)	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所

登録番号	課題番号	題 名	研究代表者・所属
No. 248	21 - 共研 - 2036	政治参加と社会貢献に関する計量分析	松本 渉 統計数理研究所
No. 249	21 - 共研 - 4204	Rにおける教育用プラグインの整備および開発	橋本 紀子 関西大学
No. 250	21 - 共研 - 5003	動的システムの情報論(9) 大自由度非線形系の制御:生体現象を例にして	安東 弘泰 科学技術振興機構
No. 251	21 - 共研 - 1008	管理栄養士に必要な統計力を高めるための教材研究	井ノ口 美佐子 西南女学院大学
No. 252	20 - 共研 - 5007	最適化:モデリングとアルゴリズム	土谷 隆 統計数理研究所
No. 253	21 - 共研 - 2035	グローバル化する環境政治	片野 洋平 鳥取大学